

身延山大学仏教学部紀要 第二十二号 彙報

身延山大学仏教学部における活動の一端を紹介します。

一、令和三年度専任教員に関する事項（令和三（二〇二一）年四月九日現在）

(1) 学長 持田貫宣

(2) 副学長 望月海慧

(3) 学部長 池上要靖

(4) 専任教員（二十人）

① 日蓮学専攻（五人）

望月海慧 教授	庵谷行亨 教授（特任）	木村中一 教授	金 炳坤 教授
桑名法晃 助教			

② 仏教芸術専攻（五人）

望月真澄 教授	池上要靖 教授	柳本伊左雄 教授（特任）	岡田文弘 講師（特任）
ジル・エマ・ストロースマン 講師（特任）			

③福祉学専攻（十人）

伊東久実	教授	田沼 朗	教授（特任）	田淵和子	教授（特任）	村瀬正光	准教授（特任）
望月香代	講師（特任）	佐々木さち子	講師（特任）	富山美由紀	講師（特任）	中野宏子	講師（特任）
手塚知子	講師（特任）	建守善之	講師（特任）				

(5)名誉教授（七人）

上田本昌	町田是正	岩田諦静	宮川了篤	長澤市郎	山田英美	浜島典彦
------	------	------	------	------	------	------

(6)客員教授（七人）

加賀美尤祥	武見敬三	小谷みどり	渡邊寶陽	岡田行弘	岡田真美子	藤井教公
-------	------	-------	------	------	-------	------

(7)教員消息

①退職

間宮啓壬	教授	令和元年度
高橋賢充	准教授（特任）	令和二年度

②訃報

望月海淑	名誉教授	令和三年一月二十日
------	------	-----------

二、令和二年度教員活動（令和二（二〇二〇）年十月から令和三（二〇二二）年三月まで）

※「令和三年度身延山大学教員業績書」（令和三（二〇二二）年五月七日現在）に基づく。

(1)日蓮学専攻

①望月海慧 教授

《學術論文》

〔单著〕「世観『法華論』のチベット語訳は存在したのか」花野充道博士古稀記念論文集刊行会編『仏教思想の展開』山喜房佛書林、二〇一〇年十月

〔单著〕「仏教アンソロジーの系譜」『宗教研究』第九十三巻別冊、日本宗教学会、二〇二一年三月

〔单著〕「Five Ritual Manuals of Death and Rebirth Attributed to Dipankarasiṃhāna」『印度學佛教學研究』第六十九巻第三号、日本印度学仏教学会、二〇二一年二月

《その他》

〔单著〕「他宗教との比較から見る日蓮聖人の『降誕の意義』」『日蓮宗勸学院報』第二十三号、日蓮宗宗務院、二〇二〇年十二月
《講演》

〔单独〕「諸宗教における教祖の降誕祭」、令和二年度身延山大学身延公開講座、身延町文化会館、二〇二〇年十二月
《外部研究資金》

〔研究分担者〕「 Gupta 朝以降のインド仏教の僧院に関する総合的研究」、研究代表者 久間泰賢、科学研究費基盤研究（A）、二〇一八年度～二〇二二年度

②庵谷行亨 教授（特任）

《學術論文》

〔单著〕「日蓮聖人教学における仏法の弘通（一）——四依の菩薩を中心として——」『日蓮学』第四号、身延山大学国際日蓮学研究所、二〇二〇年十月

〔单著〕「日蓮聖人教学における仏法の弘通（二）——四依の菩薩を中心として——」『身延山大学仏教学部紀要』第二十一号、身延山大学仏教学部、二〇二〇年十月

〔单著〕「日蓮聖人教学における仏法の弘通（三）——四依の菩薩を中心として——」『身延論叢』第二十六号、身延山大学仏教学会、二〇二〇年十月

一年三月

《その他》

〔単著〕『観心本尊抄』の世界 第五十五回～第六十回 『日蓮宗新聞』第二四二二号～第二四二七号（毎月一日号）、日蓮宗新聞社、二〇二〇年十月～二〇二二年三月

〔単著〕『法華経に学ぶ 第十九回～第二十四回』『池上』第五十六卷十号～第五十七卷三号、池上本門寺、二〇二〇年十月～二〇二二年三月

〔単著〕「日蓮聖人における「誓願」と「菩薩」(一)」『佛教タイムス』第二八八五号、仏教タイムス社、二〇二二年二月

〔単著〕「日蓮聖人における「誓願」と「菩薩」(二)」『佛教タイムス』第二八八六号、仏教タイムス社、二〇二二年二月

《研修会》

〔単独〕「法華経の教え・日蓮聖人の教え」、公開研修会（毎月一回）、宗長寺、二〇二〇年十月～二〇二二年三月

③木村中一 教授

《その他》

〔単著〕「日々愚案の記」『求道』第七二二号～現在に至る、求道同願会、二〇二〇年十月～現在に至る

〔単著〕「コロナ禍に考える日蓮聖人伝―『當家宗旨名目』にみる日蓮聖人誕生の日付―」『法華』第一一三四号、法華会、二〇二二年二月

〔単著〕『日蓮聖人傳絵巻』にみる日蓮聖人の御生涯 『教報誌・みのぶ』第一〇七卷第十号～第一一一卷第十二号（全五十一回）、身延山久遠寺、二〇一五年十月～二〇二〇年十二月

《講演等》

〔単独〕「誕生の意義をあらためて考える―幼き日の日蓮聖人像と日蓮宗成立を中心に―」、令和二年度身延山大学身延公開講座、身延町総合文化会館、二〇二〇年十二月

〔単独〕「御遺文講座」、身延山共栄運動（月一回定例）、身延山久遠寺共栄部、身延山久遠寺、二〇二〇年六月～現在に至る

④金 炳坤 教授

《學術論文》

〔单著〕「慧浄述『妙法蓮華経續述』の敦煌本について」『身延山大学仏教学部紀要』第二十一号、身延山大学仏教学部、二〇二〇年十月
〔单著〕「利都法師撰『法華経義記』攷(3)―もう一つの同本離片について―」『身延論叢』第二十六号、身延山大学仏教学会、二〇二二年三月

《その他》

〔共著〕「『身延論叢』第二十六号 編集後記」『身延論叢』第二十六号、身延山大学仏教学会、二〇二二年三月

⑤桑名法晃 助教 ※学部書記

《學術論文》

〔单著〕「深草瑞光寺所蔵『宗祖一代本尊鑑』(二)―遠沾院日亨『御本尊鑑』との関連を中心に―」『身延山大学仏教学部紀要』第二十一号、身延山大学仏教学部、二〇二〇年十月

〔单著〕「起顕竟の法門―囑累品の位置づけ―」『印度學佛教學研究』第六十九卷第一号、二〇二〇年十二月

〔单著〕「深草瑞光寺所蔵『宗祖一代本尊鑑』(二)―『聖人御系図御書』を中心に―」『身延論叢』第二十六号、身延山大学仏教学会、二〇二二年三月

《その他》

〔单著〕「法華経の世界83 日蓮聖人のご本尊①」『正法』第一六五号、日蓮宗新聞社、二〇二二年三月

〔共著〕「『身延論叢』第二十六号 編集後記」『身延論叢』第二十六号、身延山大学仏教学会、二〇二二年三月

(2) 仏教芸術専攻

①望月真澄 教授

《分担執筆》

(单著) 「日蓮宗」 日本佛教学会編 『仏教事典』 丸善出版、二〇二一年一月

(单著) 「身延山大学」 日本佛教学会編 『仏教事典』 丸善出版、二〇二一年一月

《学術論文》

(单著) 「近世日蓮宗寺院における伽藍配置の特徴」 『宗教研究』 第九十三巻別冊、日本宗教学会、二〇二二年三月

《その他》

(单著) 「仏教？仏事のこと14 「お召し講」 『日蓮宗新聞』 第二四二二号、日蓮宗新聞社、二〇二〇年十月

(单著) 「仏教？仏事のこと15 「天台大師講」 『日蓮宗新聞』 第二四一五号、日蓮宗新聞社、二〇二〇年十一月

(单著) 「仏教？仏事のこと16 「妙見講と星祭」 『日蓮宗新聞』 第二四一八号、日蓮宗新聞社、二〇二〇年十二月

(单著) 「仏教？仏事のこと17 「御頭講会」 『日蓮宗新聞』 第二四二二号、日蓮宗新聞社、二〇二一年一月

(单著) 「法華遺産第9回 日蓮宗 「宗章」 『正法』 第一六四号、日蓮宗新聞社、二〇二一年一月

(单著) 「仏教？仏事のこと18 「大黒天と甲子講」 『日蓮宗新聞』 第二四二四号、日蓮宗新聞社、二〇二二年二月

(单著) 「仏教？仏事のこと19 「痔の守護神 秋山自雲霊神」 『日蓮宗新聞』 第二四二七号、日蓮宗新聞社、二〇二二年三月

(单著) 「法華遺産第10回 角田波題目」 『正法』 第一六五号、日蓮宗新聞社、二〇二二年三月

(单著) 「新六老僧略伝(3) 日向上人」 『正法』 第一六五号、日蓮宗新聞社、二〇二二年三月

《講演》

(单独) 「日蓮聖人降誕の顕彰と儀礼」、令和二年度身延山大学身延公開講座、身延町総合文化会館、二〇二〇年十二月

②池上要靖 教授

《講演》

(单独) 「身延山を考える」、令和二年度身延山学講座、身延山大学附属図書館、二〇二〇年十一月

(单独) 「佛祖の視点でみる新型コロナウィルスとは―日蓮宗徒はどう心がまえるか―」、令和二年度日蓮宗北関東教区教化研究会議、日蓮宗埼玉県宗務所(オンライン)、二〇二二年三月

④岡田文弘 講師（特任）

《学術論文》

〔单著〕「經典をめぐる經典―『法華経』の文学的技法―」『日蓮学』第四号、身延山大学国際日蓮学研究所、二〇二〇年十月

〔单著〕「日蓮と説話―僧祥『法華伝記』との比較―」『印度學佛教學研究』第六十九卷第一号、二〇二〇年十二月

〔单著〕「ボストン・ガードナー美術館の妙法蓮華」『現代宗教研究』第五十五号、日蓮宗現代宗教研究所、二〇二二年三月

《その他》

〔单著〕「狐火炉話 第一回 キツネと紙魚と、それから私」『最上教報』第八四〇号、最上稲荷山妙教寺、二〇二二年四月

《講演等》

〔单独〕「アメリカの『法華経』受容の一端―ボストン・ハーバード大学を中心として―」、令和二年度日蓮宗現代宗教研究所例会（オンライン）、日蓮宗宗務院、二〇二〇年十月

〔单独〕「日本の靈魂観―文学・物語を中心に―」、令和二年度日蓮宗現代宗教研究所例会、日蓮宗宗務院（オンライン）、二〇二二年一月

〔单独〕「ハーバード大学における『法華経』講読の試み」、令和二年度国際日蓮学研究所例会、身延山大学（オンライン）、二〇二二年一月

⑤ジル・エマ・ストロスマン 講師（特任）

《学術論文》

〔单著〕「Alternatives to Khamouk in Southeast Asia (2020)」『日蓮学』第四号、身延山大学国際日蓮学研究所、二〇二〇年十月

(3)福祉学専攻

①伊東久実 教授

《学術論文》

〔单著〕「Summer Reading Challengeに基づく絵本による日本語習得支援―発話を促進する発問試案―」『身延山大学仏教学部紀要』第

二十一号、身延山大学仏教学部、二〇二〇年十月

《外部研究資金》

(研究代表者)「公立図書館における日本語支援活動のプログラム開発」、科学研究費基盤研究(C)、二〇二〇年度～二〇二二年度

②田沼 朗 教授(特任)

《分担執筆》

(単著)「コロナ禍と子ども、保護者、学校―教育政策と民間の動き―」山梨の子ども白書編集委員会編『山梨の子ども白書―子どもたちのしあわせを願ってよっちゃばる―』山梨の子ども白書編集委員会、二〇二一年二月

《学術論文》

(単著)「コロナ禍で浮き彫りとなった日本の学校の公共性」『小児歯科臨床』二〇二二年二月号、東京臨床出版、二〇二二年二月

⑨手塚知子 講師(特任)

《学術論文》

(共著)「小学校における障害理解教育の展望―「知見」と「かわり」及び教師の役割―」『山梨障害児教育学研究紀要』第十五号、山梨大学教育人間科学部障害児教育講座、二〇二二年二月

⑩建守善之 講師(特任)

《講演等》

(単独)「大学における建学の精神と福祉を学ぶ」、令和二年度身延山大学学園講座、身延山大学、二〇二〇年十月十三日

(単独)「教育心理学」、介護教員講習会、神奈川県横浜市岩井会議室、二〇二〇年十月十七日

(単独)「教育方法」、介護教員講習会、神奈川県横浜市岩井会議室、二〇二〇年十月三十一日

(単独)「教育評価」、介護教員講習会、神奈川県横浜市岩井会議室、二〇二〇年十一月一日

(単独)「これからの福祉の動向」、キャリア形成技術指導事業、山梨県社会福祉協議会、二〇二〇年十一月五日
(単独)「介護過程の展開方法」、介護教員講習会、神奈川県横浜市岩井会議室、二〇二〇年十一月七日
(単独)「学生指導・カウンセリング」、介護教員講習会、神奈川県横浜市岩井会議室、二〇二〇年十二月五日

三、令和二年度卒業論文及び指導教員(令和二(二〇二〇)年十二月九日)

(1)宗学コース(二人)

加茂智静 日蓮聖人遺文の書誌学的研究
鈴木紅龍 自死とグリーフケアについて

木村中一
池上要靖

(2)日蓮学専攻(十四人)

井田法誠 四箇格言考―その成立を中心に―
金川隼大 鳩摩羅什と姚興の翻訳による繋がり
澤田晃寿 初期仏教におけるインド思想の影響
澤田康良 鳩摩羅什の生涯をめぐる諸問題―『出三蔵記集』と『高僧伝』を中心として―
辻 雅宗 現代仏教における埋葬の移り変わり寺院からのアプローチ
野々山泰成 日蓮聖人の死生観―靈山往詣を中心として―
明石恵将 不受不施義の源流と展開
服部修温 人口減少社会と寺院のあり方
松澤一步 日昭門流寺院の伽藍配置
加茂通典 日蓮宗における鬼子母神信仰の展開
川合 慧 京都十六本山伽藍史―頂妙寺を中心に―

木村中一
金 炳坤
池上要靖
金 炳坤
岡田文弘
木村中一
木村中一
岡田文弘
望月真澄
望月真澄
望月真澄

桑名宣忠

七面信仰の源流―七面大明神の縁起と像容からの検討―

望月真澄

渡邊謙祥

近世初頭日蓮教団における弘通活動

木村中一

長澤宏治

鶉飼山遠妙寺縁起の成立とその問題

木村中一

(3) 仏教芸術専攻(三人)

池内恵海

稻荷大明神の制作

柳本伊左雄

笠井綾也

数珠について

望月真澄

古谷総太郎

薬師如来「立像」制作

柳本伊左雄

(4) 福祉学専攻(一人)

渥美那奈畝

学校環境から子どもへの影響について

高橋賢充

四、令和二年度第二十三回卒業式・学位授与式受賞者(令和三(二〇二二)年三月十五日)

(1) 法主賞(第二十号)

澤田康良

(2) 総裁賞(第二十一号)

桑名宣忠

(3) 学長賞(第二十号)

長澤宏治

(4) 理事長賞(第十三号)

野々山泰成

編集者 金 炳坤(編集委員長)

遠藤千恵(事務局)